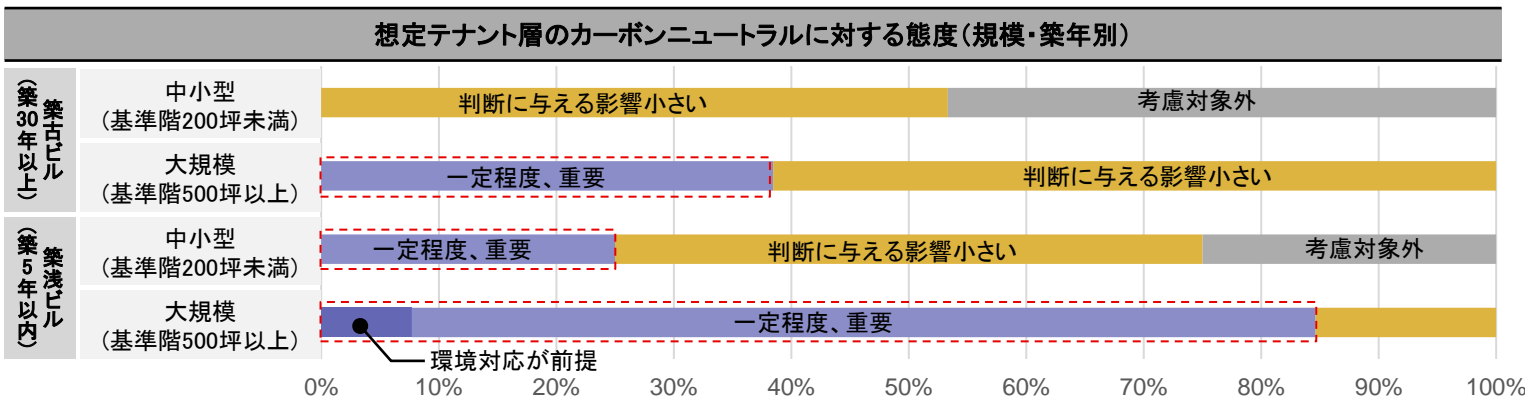
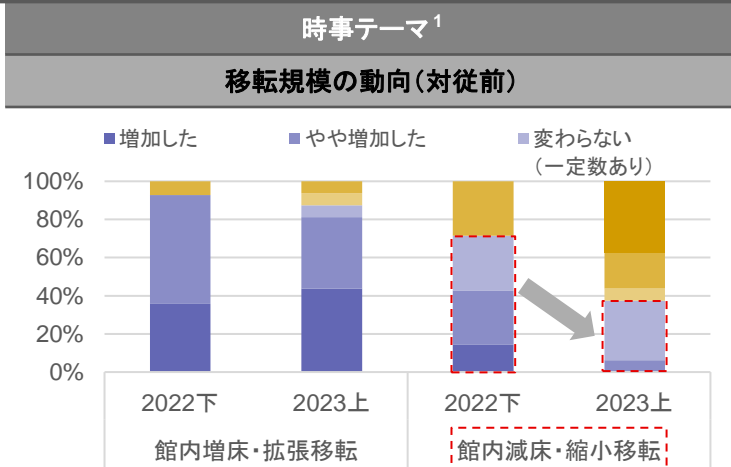


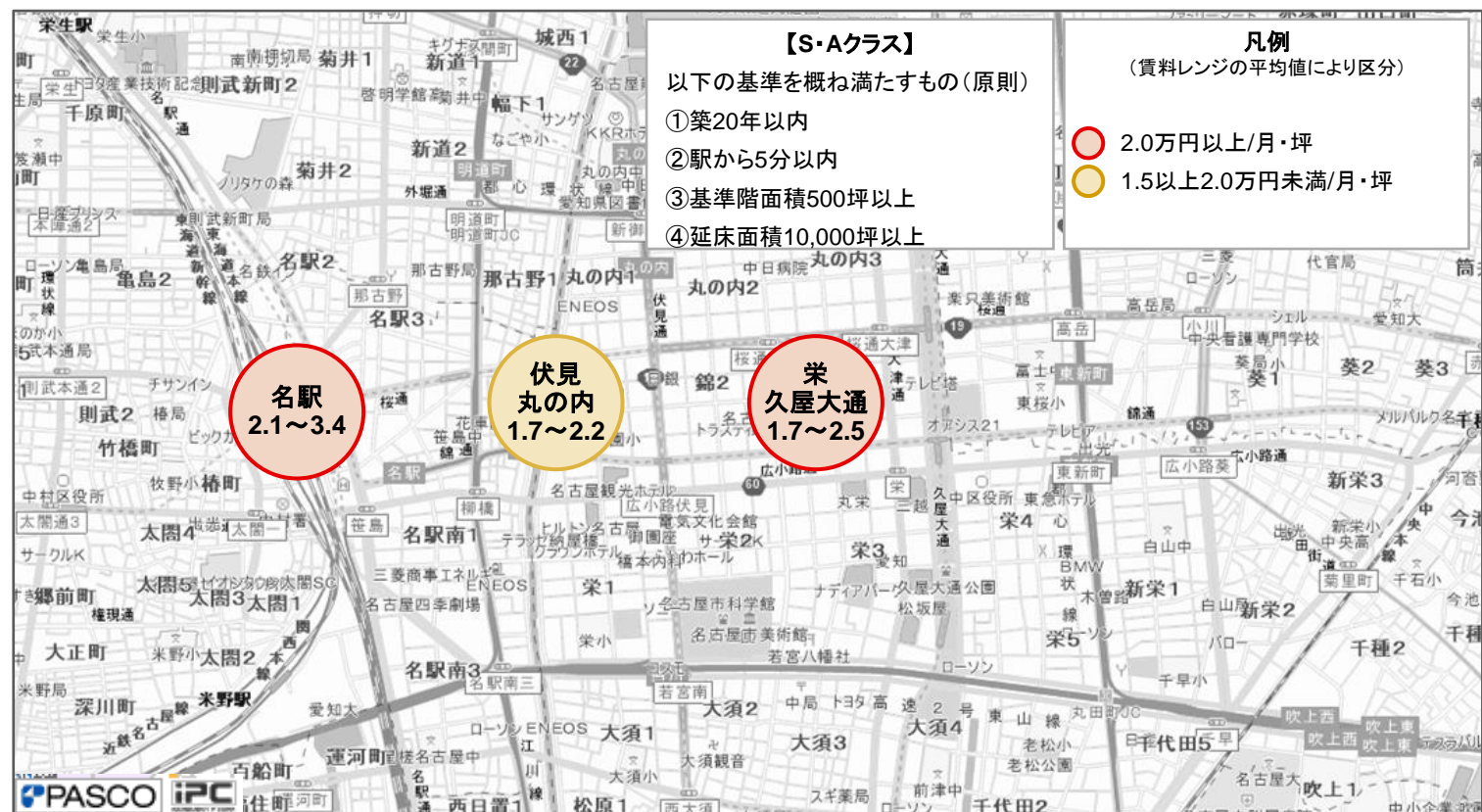
# 【名古屋】オフィス賃貸市場の概要(2023年8月～9月調査)

## マーケット総括

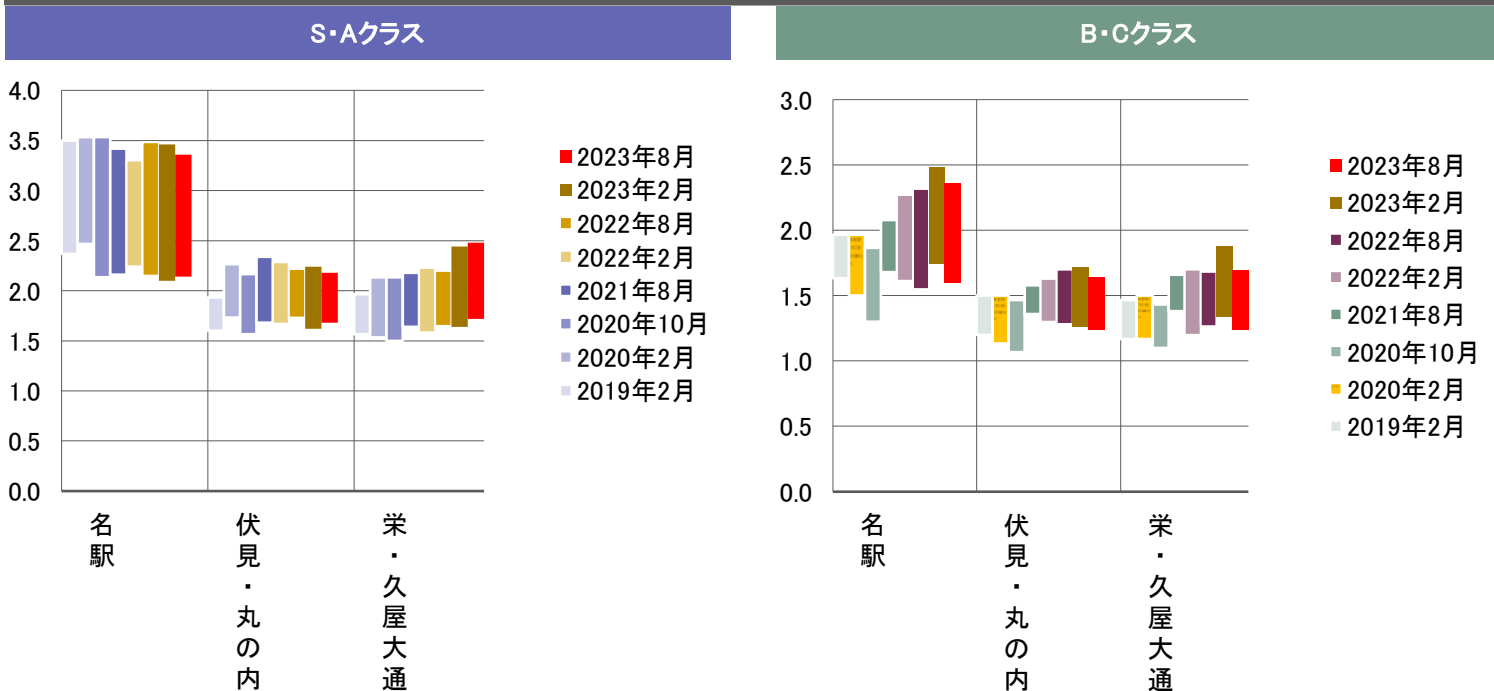
- ・ 拡張や立地改善など意図した移転を背景に需要の回復が見られるものの、それを上回る供給により空室は長期化。2021年竣工物件の中にも多くの空室を抱える物件がある状況。
- ・ 賃料1.5万円/坪未満の中小規模ビルは比較的堅調であるが、賃料2万円/坪を超える水準帯は、楽観視できない状況で、一部の物件では、未竣工ながら賃料値下げに踏み切る動きも見られる。
- ・ 一方で、人材確保や東阪からのアクセス性の観点で名古屋駅近隣を強く志向するテナントは根強くテナントニーズにマッチした物件では順調にリーシングが進むなど、二極化の傾向。



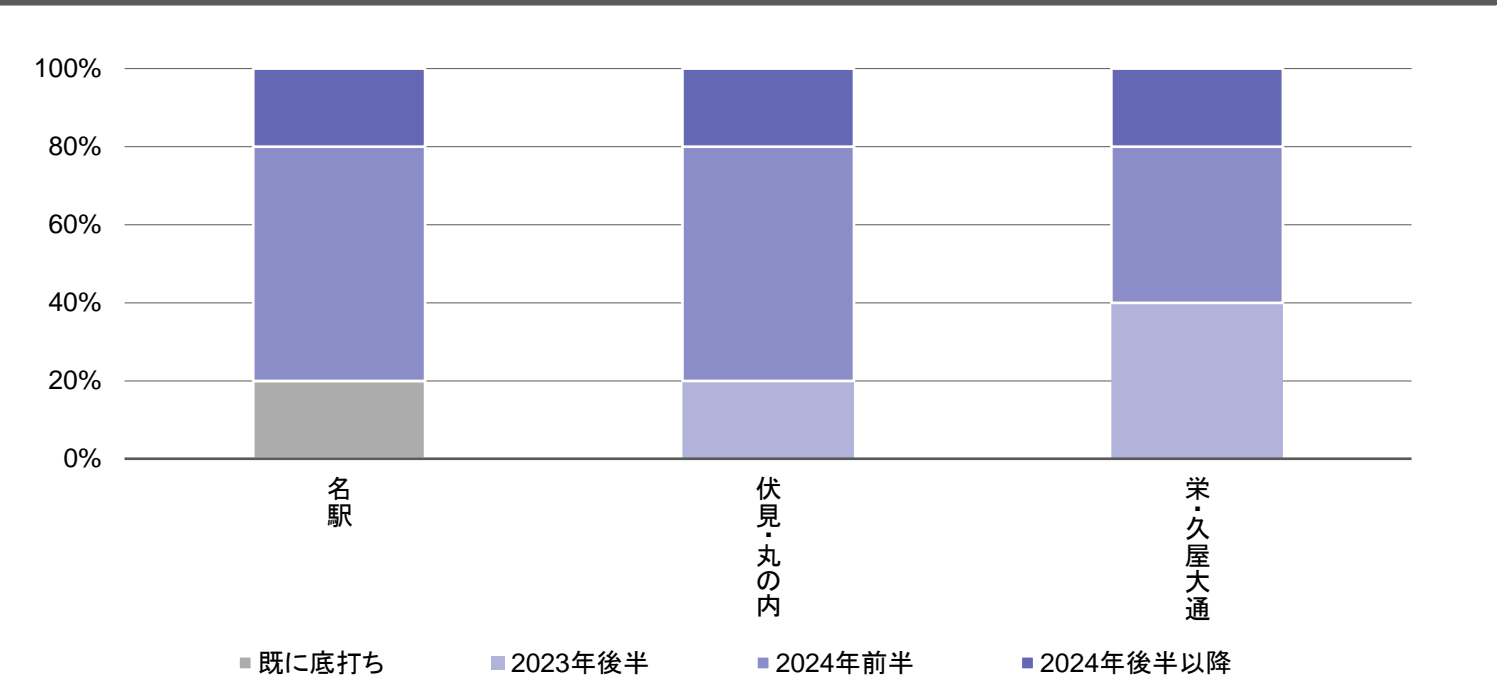
## エリア別S・Aクラス成約賃料レンジ(共益費込)



## 成約賃料レンジの時系列比較(万円/坪)



## S・Aクラス マーケット(賃料)の底打ち時期予想(万円/坪)



(注) 1. 時事テーマについては、東京・大阪・名古屋計21社の回答を集約

本資料に記載している見解等は本資料作成時における見解等であり、経済環境の変化や相場変動、税制等の変更によって予告なしに内容が変更されることがあります。また、記載されている推計計算の結果等につきましては、前提条件の設定方法によりその結果等が異なる場合がありますので、充分ご留意ください。本資料は、当社が公に入手可能な情報に基づき作成したものです。その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。施策の実行にあたっては、実際の会計処理・税務処理等につき、お客さま顧問会計士・税理士等にご確認ください。本資料の分析結果・シミュレーション等を利用したことにより生じた損害については、当社は一切責任を負いません。また、本資料は、特定の有価証券の価値等に関する助言又は金融商品の価値等の分析に基づく投資判断に関する助言を目的とするものではありません。本資料の著作権は三菱UFJ信託銀行株式会社に属します。従いまして、本資料のお取扱いはお客さま限りにおいてお願い申し上げます。

世界が進むチカラになる。

